

臨床研究情報

【研究課題名】

小児喘息重症度分布と治療の経年推移に関する多機関調査（日本小児アレルギー学会疫学委員会が主導の多機関共同調査研究）

【研究機関】

埼玉医科大学病院

共同研究機関

昭和大学病院、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、国立病院機構三重病院、滋賀県立小児保健医療センター、大阪府済生会中津病院、兵庫県立こども病院、国立病院機構名古屋医療センター、獨協医科大学病院、なすのがはらクリニック、社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所

当院を含む調査協力機関

【研究責任者】

当院責任者 小児科 住本真一・藤野寿典

研究責任者 埼玉医科大学病院 板澤寿子

【研究の目的】

小児気管支喘息患者さんの実態の変遷を知ることに加え、2022年度のコロナウイルス感染症2019(COVID-19)による小児気管支喘息への影響を評価します。

【研究の方法】

・対象

2022年10月24日～2022年10月30日（もしくは診療の状況変化等の事情があれば2022年10月24日～2022年11月20日）に外来受診（救急受診、オンライン診療、電話診療を含む）、及び入院中の気管支喘息患児

・利用する情報

電子カルテ情報

年齢、外来・入院別、性別、症状のみによる重症度（見かけ上の重症度）、治療ステップ、喘息に対する長期管理薬の種類、喘息治療内容、過去12か月間における急性発作のステロイド投与の有無、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2型（SARS-CoV-2）の感染の有無と重症度

・外部への試料・情報の提供・解析方法

研究のために取得した情報は研究特有の ID を付与し、日本小児アレルギー学会疫学委員会事務局に送付され、全症例を集積した後、埼玉医科大学病院小児科に送付となり、解析されます。解析されたデータは、同施設内の施錠可能な保管庫で研究終了後5年間保管され、その後完全に廃棄されます。ただし、本研究は長期にわたる経年変化を評価しているため、日本小児アレルギー学会疫学委員会により本研究から得られたデータが将来の研究のために必要であると判断された場合は保管期間が延長される可能性があります。

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪赤十字病院 小児科部
〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-30
TEL 06-6774-5111 FAX 06-6774-5131

作成日：令和5年1月27日